

岡山赤十字病院 救急科



救急科について

救急科は2名の常勤医と2名の非常勤医により、外科系の1次から3次救急までの初期対応と、内科系のホットライン(3次救急)対応をしております。また、院内急変(コード・ブルー)対応、入院診療も行っております。現在、日本救急医学会救急科専門医を持つ救急医が、平日日中(8時30分から17時)の救急診療に当たっています。

連携医の先生方へ

診断がついている場合や専門診療科での診察を希望された場合には、当該診療科をご指定ください。なお各診療科も検査・手術で対応できない場合があります。ご紹介くださる場合は事前にご連絡ください。

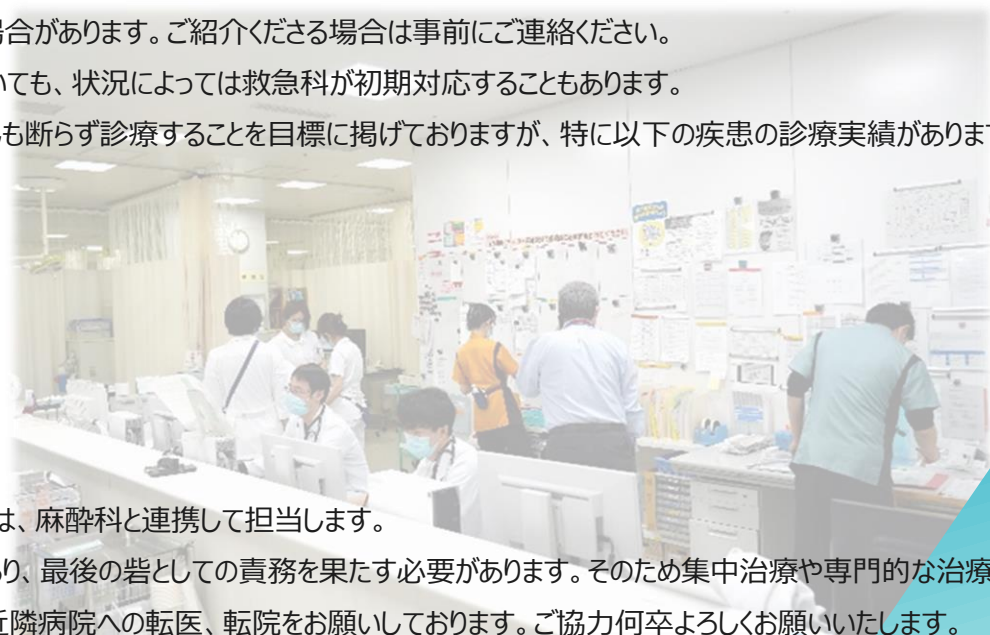
当該診療科をご指定いただいても、状況によっては救急科が初期対応することもあります。

当科では、どのような患者さんも断らず診療することを目標に掲げておりますが、特に以下の疾患の診療実績があります。お困りの時はご相談ください。

- ・心停止
- ・意識障害
- ・精神科患者の身体合併症
- ・急性中毒
- ・ショック
- ・熱中症/低体温
- ・診断のつかない重症患者

集中治療が必要な患者さんは、麻酔科と連携して担当します。

当院は救命救急センターであり、最後の砦としての責務を果たす必要があります。そのため集中治療や専門的な治療が必要なくなった患者さんは、近隣病院への転医、転院をお願いしております。ご協力何卒よろしくお願いいたします。



スタッフ

實金 健(副院長/第一救急科部長)

久村 正樹(第二救急科部長)

非常勤医

有嶋 拓郎(藤田医科大学岡崎医療センター 救急科)

前壮 一郎(倉敷中央病院 救急科)

第二救急科 久村 正樹

令和7年1月発行